

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	遺骨帰還関連事業	担当部局庁	社会・援護局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度	担当課室	援護企画課外事室	山口 昌巳			
会計区分	一般会計	施策名	IV-8-2 戦没者の遺骨の帰還等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	米国管理地域における戦没者の遺骨の送還慰霊等に関する件(昭和27年10月23日閣議了解)	関係する計画、通知等	平成23年度遺骨帰還等派遣費の国庫補助について(平成23年6月23日厚生労働省発社援0623第11号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	戦後65年以上を経過した現在でも、先の大戦における戦没者の遺骨については、多くが海外諸地域等に残されているため、それらの遺骨を迅速かつ着実に收容し、本邦へ送還することを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦没者の遺骨帰還は、昭和27年度から南方地域において開始され、平成3年度からは旧ソ連地域における抑留中死亡者についても遺骨帰還が可能となった。これまでに約33万柱の遺骨が收容され、陸海軍部隊や一般邦人の引揚者が持ち帰ったものを含めると、海外戦没者約240万人のうちの約半数(約127万柱)が送還されている。 相手国の事情や海没その他の自然条件等により收容ができない地域等が残されているが、今後も現地政府などからの残存遺骨情報の収集に努め、遺骨帰還を実施することとしている。相手国の事情により遺骨帰還ができない国には、外務省と連携し遺骨帰還の実現に向けて努力しているところである(一部補助事業 補助率 10/10)。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	259	495	349	263	257
		補正予算		195			
		繰越し等		△ 195	195		
	計	259	495	544	263	257	
	執行額	282	357	337			
執行率(%)	109	72	62				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の目的である戦没者遺族の慰藉による成果については、定量的な把握、指標設定が困難	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	遺骨帰還の実施数	活動実績	回	44	51	41	—
		(当初見込み)			(42)	(38)	(38)
単位当たりコスト	6,342,000(円/回)	算出根拠	H23年度遺骨帰還事業に係る経費 241百万円/H23活動実績38回				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1	1				
	職員旅費	0.2	0.2				
	委員等旅費	0.3	0.3				
	遺骨帰還等旅費	42	40				
	遺骨帰還等庁費	178	175				
	遺骨帰還等委託費	19	19				
	遺骨帰還等派遣費補助金	23	22				
計	263	257					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・海外戦没者の遺骨帰還の取組については、遺族はもとより国民感情としても放置しておくことのできない大きな課題であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・遺骨帰還の取組については、国の責務として国の主体により行われるものである。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	・相手国の事情から一部について遺骨帰還事業を延期したこと等により不用が生じている
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(随意契約の締結) ・硫黄島のインフラ整備に必要な重機等を所有している民間団体が島内に1者しかいないため。 ・また、事業に係る経費の一部について外国で契約したため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	・事業の実績を踏まえ、必要な経費について見直しを行っている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の実施に必要なもののみ限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	遺骨帰還事業は、相手国や関係者からの情報を精査し、計画的に実施されている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	当初見込みを上回る実績となっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
点検結果	引き続き、相手国との調整を図るとともに、必要な経費を精査し、適切な遺骨帰還事業を実施していくこととする。 平成23年度より、可能な限り競争的な選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	460	平成23年行政事業レビュー	418

【平成23年度実績額】

厚生労働省 337百万円

国内での支出

【事務委託】

A. 沖縄県 15万円

沖縄県において遺骨収容、情報収集、戦没者墓苑の清掃等を行う。

【一般競争入札】

B. 民間団体等 2者  
18百万円

硫黄島遺骨帰還等事業実施にかかるインフラ整備等を行う。

【随意契約】

C. 民間団体 42者  
141百万円

遺骨帰還に必要な重機や車両の借上等を行う。

【補助金】

D. 遺族・戦友団体等 3者  
23百万円

国の遺骨帰還に対する協力者（遺骨情報提供者、抑留経験者等）を集め、国の遺骨帰還に派遣する。

【諸謝金】

E. 遺骨帰還協力者 3者  
0.3百万円

遺骨帰還に同行した有識者に対する謝金

【随意契約】

F. 海外手配会社等 154者  
61百万円

遺骨帰還に必要な重機や車両の借上等を行う。

G. 事務費 79百万円

遺骨帰還等旅費、慰霊事業派遣員にかかる経費等

海外での支出

資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する）（単  
位：百万円）

A. 沖縄県			E. 100万円を超える支出が無いため省略		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	沖縄戦没者墓苑清掃、戦没者遺骨情報収集等経費	12			
賃金	遺骨収容人夫賃	2			
その他	消耗品、旅費等	1			
計		15	計		0.0
B.(株)双信商事			F. PAUPAU TOURS		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	硫黄島遺骨帰還実施に係るインフラ整備(草刈り機等の購入)	10	雑役務費	車両借り上げ、通訳雇い上げ等経費	14
計		10	計		14
C.(株)鹿島建設			G.(株)JTB		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	硫黄島遺骨帰還実施に係るインフラ整備(仮設事務所設置等)	70	旅費	遺骨帰還等旅費	0.5
計		70	計		1
D.財団法人日本遺族会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	遺骨帰還協力者への旅費補助	8			
計		8	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	沖縄県において戦没者墓苑清掃、遺骨情報の収集を行う	15		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)双信商事	硫黄島遺骨帰還実施に係るインフラ等整備(草刈り機等の購入)	10	2	68.9%
2	(株)アクティオ	硫黄島遺骨帰還実施に係るインフラ等整備(発電機等の購入)	7	1	67.1%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)鹿島建設	硫黄島遺骨帰還実施に係るインフラ等整備(仮設事務室設置等)	70	随意契約	
2	(株)オスカージャパン	遺骨帰還事業等の実施に係る通訳等業務	34	随意契約	
3	(有)野田商行	遺骨収容に要する消耗品の購入	6	随意契約	
4	(株)大和探査技術	沖縄遺骨収容にかかる地質調査業務	5	随意契約	
5	(株)イーエーシー	遺骨収容に要する重機・車両の借り上げ	5	随意契約	
6	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構	遺骨収容にかかる遺骨の判別業務	4	随意契約	
7	(株)日本旅行	超過荷物料金・車両借り上げ	3	随意契約	
8	(株)日本翻訳センター	海外地域における慰霊事業の実施に伴う翻訳等業務	2	随意契約	
9	(株)神戸車輛製作所	慰霊事業に要する荷物の輸送等	1	随意契約	
10	(株)ワールド機器	遺骨収容にかかる埋没金属探知機の購入	1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本遺族会	国の遺骨帰還に対する協力者を集め、国の遺骨帰還に派遣する	8		
2	公益財団法人大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会	国の遺骨帰還に対する協力者を集め、国の遺骨帰還に派遣する	8		
3	NPO法人JYMA日本青年遺骨収集団	国の遺骨帰還に対する協力者を集め、国の遺骨帰還に派遣する	6		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	遺骨帰還同行者A	遺骨帰還事業への同行	0.1		
2	遺骨帰還同行者B	遺骨帰還事業への同行	0.1		
3	遺骨帰還同行者C	遺骨帰還事業への同行	0.1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	PAUPAU TOURS	遺骨帰還に要する車両借り上げ、通訳雇い上げ	14		
2	PNG JAPAN LTD	遺骨帰還に要する車両借り上げ	6		
3	MOツーリスト	遺骨帰還に要する車両借り上げ、遺骨安置室借り上げ	3		
4	ジャパン・トラベル・エージェンシー	遺骨帰還に要する車両借り上げ	3		
5	クリアード・グラウンド	遺骨帰還に要する環境整備	3		
6	(株)EXPLORE TRAVEL	遺骨帰還に要する車両借り上げ	3		
7	ニッポン・トラベル・エージェンシー シークロネシア・インク	遺骨帰還に要する車両借り上げ	2		
8	ロックアイランドツアー社	遺骨帰還に要する車両・船舶借り上げ	2		
9	(株)インディアナトラベル	遺骨帰還に要する車両・船舶借り上げ、通訳雇い上げ等	2		
10	(株)ツアーマンダレー	遺骨帰還に要する車両借り上げ	2		

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTB	遺骨帰還事業等にかかる旅費	0.5		
2	(株)リコー	コピー機の保守業務	0.1		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					